

行って
きました!!

三大河川交流 in 利根川

平成24年に兄弟縁組を締結して以来、互いに交流を深めてきた日本三大流れ川の仲間達が、令和6年は利根川に集合! 10月18日・19日、みなかみ町カルチャーセンター(群馬県利根郡)で開催された「利根川流域フォーラム in みなかみ町」に、吉野川から13名が参加しました。みなかみユネスコエコパークの概要や企業と連携した取り組みの発表に続き、吉野川、筑後川も登壇して発表。自然と人間社会の共生について意見交換しました。翌日は現地見学へ。奈良俣ダムや谷川岳インフォメーションセンターを訪れ、ユネスコエコパークの雄大な自然の一端を見学しました。



阿波踊りは三兄弟の交流に欠かせません♪

巨大な奈良俣ダムの内部機構も見学させていただきました



- ◆ 交流事業
 - ◆ アドプト・プログラム吉野川の推進
 - ◆ 子どもの交流体験事業の実施
 - ◆ 地域イベントとの交流事業の実施
 - ◆ 三大河川交流事業の実施(流域間交流事業)
 - ◆ 国土交通省との共催事業の実施
 - ◆ 「恵みの宝庫『吉野川』創造プロジェクト」との連携事業の実施
- ◆ 情報発信事業
 - ◆ 機関誌「四国三郎吉野川」の発行
 - ◆ インターネットによる全国への情報発信
 - ◆ 各種イベントでの活動のPR、パネル展など
- ◆ 会員の募集
 - ◆ イベント等で入会案内を配布し、新規正会員、新規正会員、賛助会員を募集



6期にわたって会長を務められた福永義和さんへ、新会長の住友康彦さんより感謝状が贈呈されました

令和6年5月27日、ホテル千秋閣で開催した吉野川交流推進会議総会において、事業計画等を協議しました。役員改選により住友康彦さんが会長に就任。また、アドプト・プログラム吉野川参加団体・企業のうち、活動の顕著な団体・企業等に感謝状を贈呈しました。今年度の事業計画は次のとおりです。

◆ ◆ ◆ 令和6年度総会を開催しました ◆ ◆ ◆

交流体験 in よしのがわ

吉野川の豊かな自然のなかで 親子で学び、遊び、夏休みの思い出を!

吉野川に親しむとともに、地元の人々との交流を通じて連携を深めてもらおうと、今年も上・中・下流の3か所で「交流体験 in よしのがわ」を開催。水難事故防止講習も行い、川で遊ぶ時の注意、スローバックやライフジャケットの正しい使い方などをしっかり実習しました。



上流編 池田ダム湖で水上スポーツを体験!! R6.8/3

ウォータースポーツの拠点として整備が進む池田ダム湖で今年も上流編を開催。三好ラフティングチームを講師に、小学生親子18名がラフティングやスタンド・アップ・パドルボード(SUP)に挑戦しました。ダム湖は波や流れが穏やかなので小さな子どもも安心。SUPでクルージングしたり、ラフトボートをみんなで息を合わせて漕いだり、川で泳いだり、思い思いにウォータースポーツを楽しみました。川風も心地よく、水辺の楽しさを満喫した一日でした。



中流編 吉野川でカヌーを楽しもう R6.7/23

中流編は四国三郎の郷付近でカヌー体験を開催しました。川の達人・AMEMBOの指導で、パドルの持ち方、姿勢、カヌーの操作方法などを教えてもらい、小学生親子28名が川へ。小さな子どもパドルを一生懸命に動かし、進んでいきます。徳島市から参加した前川優成さん(小4/写真右)は「プールで遊んだことはあるけど川は初めて。難しいけど楽しかった」と笑顔で話してくれました。



下流編 おさかな博士の川魚かんさつ R6.8/5

常に13~14種類の魚が観察できるという鮎喰川は川魚観察に最適。下流編は、井藤大樹さん(県立博物館学芸員)を講師に鮎喰川・梁瀬橋付近で川魚観察会を行いました。魚のつかまえ方のレクチャーの後、小学生親子28名が網を手に川へ。親子で協力しながら、カワヨシノボリ、オオシマドジョウ、ママチブなどたくさんの魚をゲット! 魚についての先生の解説も楽しく、子ども達は熱心に聞き入っていました。夏休みの自由研究もこれでバッチリ!

